



# たてわり活動を通して異学年で学ぶ

副校長 伊瀬知 大記

本校では、年間を通してたてわり活動に取り組んでいます。たてわり活動では、他学年の仲間と関わって仲を深めたり、グループ活動の中でそれぞれの学年に応じたためあてに沿った行動をとったりできることを目指しています。1年生と6年生、2年生と5年生、3年生と4年生のペア学年を基本として、異学年のグループで様々な活動に取り組んでいます。

先日、校内でたてわり全校活動が行われました。赤（1組）・黄（2組）・青（3組）の色ごとにローテーションを組み、校庭遊び、教室遊び、校内ウォークラリーを行いました。キャプテンやグループリーダーを始めとして、6年生は1年生のお世話をしたり他の学年の子に声をかけたりして、はりきってグループをまとめる姿が見られました。5年生も、6年生を手伝ったり下学年の子と積極的にふれあったりしていました。低学年の子どもたちは、上の学年の子に声をかけてもらいながら、ゲームを楽しむ様子が見られました。まだ新しいグループのメンバーに慣れない様子の子もいましたが、周りの子どもたちが優しく声をかけていたのが印象的でした。

異年齢の友達と過ごすことで、子どもたちの中に様々な学びや気づきが生まれます。年下の子どもたちは年上の子どもたちに助けをもらうだけでなく、彼らの行動を見て人との関わり方を学ぶことがあります。年上の子どもたちが年下の子どもたちに対して思いやりの気持ちをもって接したり、時には少し前の自分を思い出し、これまでの自分を振り返って自らの成長を感じたりすることもあります。同じ学年の友達に言われてもなかなか素直にできなかったことが、異学年の集団の中に入ると不思議とできることもあります。

たてわり活動以外にも、6年生が1年生の給食や掃除のお手伝いをしたり体力テストをペア学年で実施したりするなど、それぞれの学年が工夫して、様々な形で交流する姿が日常的に見られます。今後も異学年でのかかわりを大切にしていきます。

